

修徳

題字：伊藤博文

発行所
修徳自治連合会
広報委員会

発行責任者 篠原 實
編集責任者 多田 周
制作 楠美 美
印刷 光洋印刷

築こう育てよう自主防災の輪 一糸乱れぬ第一回総合訓練

修徳自主防災会

昨年十一月二十七日は、大変寒い日でした。大寒波の日でした。下京消防署長・下京消防団長・下京区長をはじめ六連合(有隣、豊園、永松、開智、成徳)の連合会会長など役員の方々の臨席を頂き、修徳消防分団・学区民各位の熱意あるご支援のもと、総勢三百七十人余りの参加で初訓練を実施することができ、誠に心強く思いました。

13時30分丁度、下京消防署より『京都地方に訓練地報告完了できたときには、

震発生。震度3。各学区民は直ちに、それぞれの広域広場に向け、避難せよ。との指示があり、当学区における自主防災要領による避難訓練が始まりました。

このあと、三角巾の取り扱い方を中心とした救護訓練・消防署の特別訓練などがあり、15時40分、第一回自主防災訓練を無事終了いたしました。

思えば昨年十月の結成以来、多くの方々の支えとご協力により、初めてにしては見事に統制のとれた避難訓練を実施することができました。これひとえに皆々様の厚いご理解と積極

13時30分丁度、下京消防署より『京都地方に訓練地報告完了できたときには、

震発生。震度3。各学区民は直ちに、それぞれの広域広場に向け、避難せよ。との指示があり、当学区における自主防災要領による避難訓練が始まりました。

常に行動派

修徳消防分団



●年末防火特別警備
恒例の歳末警備。12月20日より30日まで、毎夜8時〜12時に実施。今年も無事皆様の厚いご協力により越年することができました。

●出初め式
元旦互礼会に続いて実施。花登下京消防署長・篠原連合会長の視閲のもと、今年の決意を新たにしました。

●京都市消防訓練開始の式
1月11日午前10時より多数来賓参加のもと京都公会館前にて挙行されました。当分団では山田副分団長以下

●防火巡回広報
3・1 防火座談会
午後7時30分より
(吉水俊成)
3・2 防火巡回広報
(学区全域)

●独居老人調査
3・3 独居老人調査
3・4 独居老人調査
3・5 消火実験会
午前10時30分より

お年寄り方の窓

社会福祉協議会

でも、防災部長を中心に、各班長共々種々反省検討願いたいものです。

「各自の財産、生命は、我々自身で守るべきです。」

この事を再認識頂き、尚一層のご協力をお願い申し上げます。(大江町・山村)



非行防止は地域より

少年補導委員会

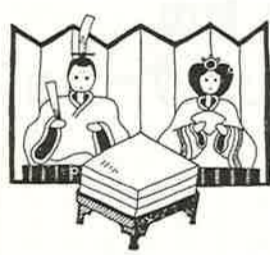
秋のレクリエーション「親子のつどい」が五条少年補導委員会学生部の主催により、有隣教育財団、鏡石学舎で開催され、修徳支部も一緒に参加致しました。

親子で手づくりのカレーライスを作ったとき、宝さがし、アニメ映画、野外ゲーム等で親子一日楽しく過ごしました。

又、修徳学生班では、富田・近森・船さんの三名にお世話いただきました。参加者は大人21名、子供19名でした。

40周年記念大会へお誘い

来る 3月19日(日)
午前11時〜午後3時
修徳小学校講堂にて
40周年記念
「婦人のつどい」を開催いたします。



何れ詳しいことは、後日各員にお知らせいたしますが、今からご予定ください。(高砂町・平井)

会員の皆様と共に、記念すべきこの節目を、お祝いいたします。

ご近所の皆様お誘い合わせ、お気軽にご参加下さいませ。お待ちしております。

午後1時より
(徳方・小田原)
午後7時30分より
(藪下・中野之)

午後1時より
(徳方・小田原)
午後7時30分より
(藪下・中野之)

午後1時より
(徳方・小田原)
午後7時30分より
(藪下・中野之)

午後1時より
(徳方・小田原)
午後7時30分より
(藪下・中野之)

午後1時より
(徳方・小田原)
午後7時30分より
(藪下・中野之)

午後1時より
(徳方・小田原)
午後7時30分より
(藪下・中野之)

便利で一番おトクなマルユ専用預金
にしん
新型 期日指定定期預金
心とこころ 明るい地元

西陣信用金庫
五条支店
下京区五条通南丸西入ル
☎(351) 2345・5720

京信スイスフラン口座
ワクを越えた資金運用に最適!
安全・確実で1ヶ月たてば、お引出し自由
好確定期利廻りです。

京都信用金庫西洞院支店
下京区松原通西洞院東南角 TEL. 371-2349

年金・給与振込は中信で
会社も社員の方がたも、メリットがいっぱい!
優と1年複利でふえ方最高、有利で便利

期日指定定期預金
ジャンボ
中信 五条支店 ☎351-2951
五条西洞院に71番目の店舗

新しい企画も満載

恒例の「第三回修徳ふれあい広場」

天気にも恵まれた一月十五日。第三回修徳ふれあい広場は午前十一時三十分下京区長も出席、開会セレモニーにより開始された。今回は昭和天皇の崩御のため、恒例の府警音楽隊の先導による区内パレード及び同演奏会が中止、紅白幕やつぽ姿は自粛したが、敬老福引、ふれあいオークション(区内の皆様よりご提供いただいた物品の販売)の企画があり、前二回よりは充実し、盛り上った一日となった。

集う人は約八百名(現在区内人口一七八三名)お互

のふれあいを心に感じながら、たこ焼、きなこ餅、きつねうどんを食べ、焼いもをほおばりながら四方山の話に時の経つのを忘れていた。子供達は、今、手から離れた風船は「どこまで飛んでいくのだろう。」拾った人から便りは送ってくるだろうか。と、大空に吸い込まれていくまで見送り、又ミニ消防車、起震車に乗って喊声をあげていた。六十五歳以上の方には敬老福引があり、九十九名の方にささやかながら喜んでいただいた。又、ふれあ

案ずるより生むが易し



昭和48年の暮、吉例素人顔見世興行が南座の舞台で節約ムードのなかに開催された。(この年の秋に第一回オイルショックが起こつて

いる)。歌舞伎古今の名作、歌舞伎十八番の内の勧進帳に出演することになった私は、弁慶と山伏問答を演ずる富樫役。満47歳の私の顔には、オシロイが白壁の様



オークションの場には人の輪が幾重にも出来、次々と品物がせりよりにかけられ、賑やかにお目当のものがせり落されていった。お蔭で売上げは二十四万三千五百円に達した。



数多くの物品提供の方々に深く感謝すると共に、この貴重な売上金は、有意義なものに使用すべく目下検討中である。

自治連合会傘下各種団体が力を合せ、「楽しい修徳つくり」の一環として多数の区民の参加により楽しい一日が送れた事に謝意を表し、更に喜ばれる区民全員参加の「ふれあい広場」になるよう、広く皆様方の良き考えを寄せていただきたく念じている。(高砂町・入江)



「奥さん、その値ならどこでも売つてるわヨ。」調味料をセリ落とした主婦に、友人のその声は一瞬間、遅かった。

冬空の下、期待と興味で満ち満ちた会場には熱気があふれ、寒さなんてどこへ行ったやら。目当ての品を求めてセリける声は少し、でも他の声を押しのけて、思案を許さない勢いである。

一見上品そうなご婦人も、興奮するとパーゲンで品物あさりをする。オバサンみだいだ。小さな修徳学区民の催しとはいえ、品物は実に豊富。中には高価な物

も目につく。大抵は上代値の3分の1位で手に入るが、3千円を越えとセリ声は間のびし、かつ少なくなる。ネットレスを男性がセリ落としたり、10円でも買ひ手のつかない洋服があつたり、見ているだけでも面白そうなお攻防が

「奥さん、その値ならどこでも売つてるわヨ。」調味料をセリ落とした主婦に、友人のその声は一瞬間、遅かった。

初競りオークションの声

い。その中に鍋が登場するとあわててセリ落とす男の人の眼の見守る中、彼の手に落ちた。

ふと空を見上げると、大行天皇崩御の半旗までが、この小さな善意の広場を、やさしく見守る様に揺れていた。(深草町・内田)

燃えさかるとどど焼の廻りには、制服を身につけた凛々しい消防団の方々が、まるで常のうつぶんをはらすように大きな角材をどどん放りこんで、焼芋のこのばい香りと一緒に大空に高く舞いあがる炎を楽しんでおられるようでした。

去る平成元年1月15日、修徳小学校校庭に於て恒例のふれあい広場が催されました。赤・青・黄・緑等、色とりどりの風船が雪空に舞い、わずかにひらいた青空に、すいこまれるように消えていきました。

新しい町内コミュニケーション

歴史ある京都の街にもあちらこちらにマンションが建ち、新たな問題が起きてくるようです。何事も「今」までどおりには重きがおか



の下。子ども達は琵琶湖の浜辺の大きな天然砂場で思い切り遊び、大人達は皆で協力して準備した炭火の焼き肉で、格別おいしいビールに話題もはずみ、楽しく町内行事として意義ある一日を過ごしました。

この小さな「和輪」が少しずつでも大きく育つて、活力ある町内になることを願っております。(御供石町・兼子)

中野之町母親クラブは、二月十二日(日)ファミリア写真展を開きました。現在の児童達は、クラブ活動や塾通いに毎日忙がしく、町内の人達と久しく顔を会わしていない人が沢山います。そこで平成元年を記念して会員各戸のファミリア写真で会いましょうという趣旨です。

「ふれあい広場」に、新しいコーナーができたのは、それだけ皆さんの関心が集まってきたという事で、愈々、初期の目的にむかつて大きく歩み出したという事でしようか。今後のますますの充実を、学区民挙つて進展させたいものです。

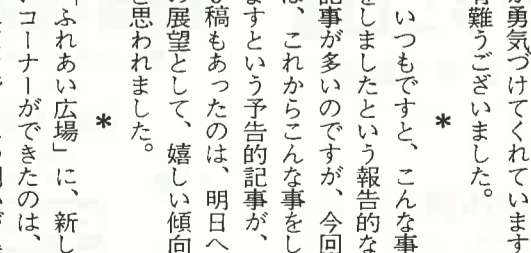
☆計報
心よりお悔み申し上げます。
野田 太三(弁財天)
坂田 保(〃)
水谷 弥生(吉水俊成)
中村 ヒサ(〃)
小西 豊一(布屋)

「打てば響く」という言葉がありますが、まさにそのとおりですが、この「修徳」を発行し始めた頃から続いている現象があります。それは、「原稿お願い」の書類を出したら、もうその翌日には、必要原稿が届けられていたという事で、大変嬉しく、編集子をとんなにか勇気づけてくれました。有難うございました。

いつもですと、こんな事をしましたという報告的な記事が多いのですが、今回は、これからこんな事をしますという予告の記事が、5稿もあつたのは、明日への展望として、嬉しい傾向と思われました。

「ふれあい広場」に、新しいコーナーができたのは、それだけ皆さんの関心が集まってきたという事で、愈々、初期の目的にむかつて大きく歩み出したという事でしようか。今後のますますの充実を、学区民挙つて進展させたいものです。

今回も多数の原稿、ありがとうございました。



この日、例年通りの町内亀山稲荷社の初午祭と併催で、全児童には焼芋が配られ、その素朴な味と和やかな町内の皆さんの心が相俟